



施設名	弓削神社の太鼓橋		 						
所在地	愛媛県 内子町石畳								
管理者等	弓削神社氏子								
施設種類・分野	橋								
施設概要 (明治期との 関連含む)	<p>内子町石畳東地区、県道串中山線沿いに存する弓削神社の境内にある弓削池にかかる神社への参道である。全町22.05mの屋根付き橋で、現在も弓削神社氏子により定期的に屋根(杉皮葺き)の葺き替えがおこなわれている。現在も太鼓橋近隣の住民により、五穀豊穰や家内安全を祈願した「日参まいり」がおこなわれ、地域信仰になくてはならない存在である。</p>								
築造時期	明治中期			時期詳細	弓削神社の創建が応永三年(1396年)と伝承されており、同時期に建造されたとの説もある。				
関連人物	—								
関連企業	—								
トピックス (特徴的エピソード)	弓削神社の氏子である地域住民により、定期的に橋脚の修理や杉皮屋根の葺き替えをおこなっている。特に橋脚の修理には池干しをおこなう必要があり、池の鯉に配慮して、ある程度水を残しながら、橋脚が基礎に届くよう堆積している泥を2mほど掘り、二日間をかけて橋脚の取替えをおこなった。(文献3より)								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	—	文化財(文化庁)	その他	近代化産業遺産(経産省)	—	世界遺産(ユネスコ)	—
		その他の指定・認定		町指定 名勝(昭和37年指定)・えひめ森林浴88ヶ所					
その他 (関連資料、文献)	<p>文献1:「内子の文化財」内子町教育委員会(昭和61年3月発行) 文献2:「内子町誌 うちこ時草紙 伝 I 文化編」内子町(平成27年3月発行) 文献3:「郷土うちこ 28号」内子町郷土研究会(平成22年3月発行)</p>								
管理者等のHP(URL等)	—								